



〈雑録〉獨逸私營保險業ノ集中ヲ論ズ(2)

關, 伊右衛門

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 11(2):274*-282

(Issue Date)

1911-08

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051760>



サントスルニアリ而シテ上來屢々行ヘル比較ニ於テ明ニコノ現象ノ一般ニ存在スルコトヲ立證シタリ。

其他尙ホ多クノ副因アリテ伊太利國內ニ於テ移住ノ變動ニ影響ヲ及ボセルコトハ勿論之ヲ否定スベカラズ南部伊太利ハ専ラ農業國ニシテ其生産物ノ大部分ハ國內ニ於テ消費セラルコノ地方ハ工業ガ僅ニ其萌芽ヲ出シタルニ過ギザルヲ以テ現今ノ資本主義ハ未ダ此地ニ成立スルヲ得ズ從テ何等移住ニ對シテ影響ヲ及シ得ルモノニアラズカ、ル影響ハ寧ロ農産物ノ收穫ノ變動ヨリ來ルモノトナスベシ若シ斯ノ如キ影響ニシテ存在スル時ハ宜シク常ニ副因トシテ之ヲ數フベキモノナリ。(完結)

獨逸私營保險業ノ

集中ヲ論ズ

(其二)

關 伊右衛門

抑モ保險金額或ハ會社ノ組織等ニヨリ或ル程

度ノ相違ハ免レズトスルモ新契約費ノ多キ會社ガ即チ收入保險料ニ對スル營業費ノ率ノ大ナルハ當然也。今此關係ヲ明カニセン爲左表ニ於テ新契約ト舊契約トノ關係ヲ示サン。

(第五表) 一九〇八年ニ於ケル獨逸生命保險會社新舊兩契約高

甲、株式會社

會社名	一九〇七年 末契約高 (馬)	一九〇八年 新契約高 (馬)	新契約高 ノ舊契約 高ニ對ス ル比例
Victoria	八五〇、三三三〇	二五、六五、四七	一三六〇
Germania	七三、三、四二七	五、四九〇、八四	七四三
Nordstem	四三、八四、六六	四、九二、八四三	九六
Concordia	三、一〇、〇、一五五	二、〇、〇、四〇六	六四七
Teutonia	二、四、〇、四九一	二、六、二、六九元	一〇八三
MagdeburgerLeben	二、四、四、五、九四	二、四、四、二、八七五	八九三
Preussische	二、四、四、一、九一	二、〇、〇、四七〇	五八七
Berlinische	三、九、二、四、九〇三	一、八、五、二、四四〇	七三
Friedrich Wilhelm	一、七、三、〇、一、九六	四、七、四、八、九六	二九六
Deutsche	三、四、一、五、〇八六	一、八、〇、八、一七〇	八三〇
Wilhelma	一、五、〇、五、〇一五	一、七、五、二、九〇〇	一一〇

Janus	1,475,000,000	3,735,930,216	3,740
Bayerische	1,475,000,000	1,247,111,121	8,270
Frankfurter	1,350,000,000	1,350,000,000	10,000
Thuringia	1,300,000,000	1,100,000,000	8,000
Arminia	1,000,000,000	1,000,000,000	15,000
Bremer	850,000,000	1,100,000,000	15,000
Providentia	800,000,000	1,000,000,000	10,000
Deutsche	700,000,000	900,000,000	10,000
Deutscher Anker	600,000,000	800,000,000	10,000
Deutschland	500,000,000	700,000,000	10,000
Atlas	400,000,000	600,000,000	10,000
Nürnberg	300,000,000	500,000,000	10,000
Vita	200,000,000	400,000,000	10,000
Urania	100,000,000	300,000,000	10,000
Prudentia	100,000,000	200,000,000	10,000

乙、相互會社

Gothaer	9,500,000,000	6,100,000,000	6,000
Leipziger	8,500,000,000	6,500,000,000	8,000
Stuttgarter Leben	8,000,000,000	6,000,000,000	7,000
Karlsruher	7,000,000,000	5,000,000,000	7,000
Preuss. Beamten-Verein	6,000,000,000	4,000,000,000	8,000
Iduna	5,000,000,000	3,000,000,000	10,000

Deutsche Militärdienst	1,200,000,000	1,000,000,000	1,000
Mecklenburger	1,000,000,000	800,000,000	1,000
Allgemein Rentenanstalt	1,000,000,000	800,000,000	1,000
Deutsche	1,000,000,000	800,000,000	1,000
Allgem. Deu-Ver-Verein	1,000,000,000	800,000,000	1,000
Rothenburger	1,000,000,000	800,000,000	1,000
Hannoversche	1,000,000,000	800,000,000	1,000
Schäpische Verein	1,000,000,000	800,000,000	1,000
Renten u. Lebens-Ver-Anstalt	1,000,000,000	800,000,000	1,000
Vesta	1,000,000,000	800,000,000	1,000
Branschweiler	1,000,000,000	800,000,000	1,000

新契約費ノ率ノ少キモノガ營業費全體ノ率ノ少キモノタルコトハ何人モ容易ニ了解スルコトヲ得ベシ。今茲ニ「ゲルマニヤ」ト「プロシヤ」トヲ參考トシテ對照スルニ。此兩社ハ上表ニ示スガ如ク其情況眞ニ相似タリ。然ルニ「ヤヌス」ハ全ク之ニ反スル現象ヲ呈セリ。凡ソ契約金額ノ増加ハ二割以上ニ達スト雖モ又營業費モ著シク上騰シ終ニ是等ノ原因ハ會社ノ合併トナリ。如何ナル種類ノ保險ト雖モ生命保險程ヨク合併ノ

行ハレタルモノヲ見ザルト同時ニ又他方ニハ新會社ヲ設立スルノ傾向全ク消滅スルニ至レリ。是新設生命保險會社ハ舊會社ノ如ク舊契約高ヲ有セザルヲ以テ全ク新契約ノ爲ニ其費用ニ壓セラレザルヲ得ザレバ也。法律ニヨリテ制限サルルト雖モカノ「チルメル式」ノ如キハカ、ル場合ニ應用シテ又幾分ノ效果ナキ能ハザルナリ。最近ニ至リ二箇ノ新設會社ヲ見ルニ至リタルト雖モ之ガ爲ニ以上余ノ主張ガ破レタルモノニアラズ何トナレバ今回新設ノ二會社ハ特殊ノ事情ノ下ニ設立セラレタルモノナレバナリ。即一般共濟ノ目的ノ爲ニ設立サレタルモノニシテ一ハ「ヅツセルドルフ」ニ於ケル「組合保險銀行」ニシテ二ハ東獨逸農業地ニ於ケル生命保險會社は也現今營業セル會社中一九〇〇年以後ニ設立サレタルモノハ只二會社アルノミ、而モ其中ノ一タル「ブルーデンチャ」ハ今將ニ「アルミニヤ」ト合併セントシツ、アリ彼ノ運命ヤ實ニ興味ナキニ

アラザルナリ。「フランクフルト新聞」ヲ傳フル所ニ據レバ同社ハ一八九九年ノ設立ニ係リ。獨逸最初ノ「保證及一般保險會社」ヨリ出デ原社ノ小口保險及生存保險ノ營業ヲ引受ケタルモノナリ。彼ハ又「ハノーバー保險會社」ノ小口保險ヲ經營シ又一九〇一年ニハロストツクノ「北獨逸保險會社」ハンブルヒノ「一般北獨逸保險會社」及アルトナノ「ユニオン保險會社」ノ總契約ヲ讓受ケタルモノナリ。又三二・〇九「パーセント」ノ營業費ヲ計上セル「ブルーデンチャ」ニ合併セントスル「アルミニヤ保險會社」モ一九〇二年ニハ「ハノーバー」ノ「徵兵及資金保險會社」ヲ併吞シ一九〇五年ニハ伯林ノ「アウグスタ」ヲ合併セシ會社ナリキ、以上ノ事實ニ據リ生命保險ハ尙其最小會社等ノ合併ニセヨ稍々集中ノ傾向ヲ有スルモノナリトノ結論ハ何人ニモ浮ブ所ナルベシ此回二大會社「北星」ト「祖國」ノ合併ノ儀ハ事全ク特殊ノ場合ニシテ直ニ卑見ニ於ケル此上ノ

證明トシテ引用スルコト能ハザル事情アリ。

一層良好ナル經營ヲ利用シ。以テ營業費ヲ減少セシメ爲ニ多クノ會社ガ單一保險營業ヨリ八百屋の保險會社ト化セルヲ見ル。今ヤ殆ンド凡テノ火災保險株式會社ハ盜難保險及水道保險ヲ營ミ。多數ノ生命保險會社ハ傷害保險及責任保險ヲ營メリ。亦硝子保險、信用保險、保證保險、暴風保險、運送保險、等ヲ營ム保險會社ニシテ直接又ハ間接ニ火災保險ヲ營マザルモノ殆ンドナシト云フモ可ナリ。斯ノ如キ多數保險種類ノ兼營ニ據テ營業費ガ果シテ著シク減少シタルヤ否ヤハ統計的ニ之ヲ發見スルコト能ハズト雖。一般經費ガ是ガ爲多少各種保險ニ分配セラレタルハ事實ナルベシ。然シ乍ラ亦是ト異ル顧慮ヨリ雜種兼營ヲ營ムモノアリ。即チ一ノ保險ノ不成績ヲ他ノ良好ノモノヲ以テ平均セントスルモノ也。ハンブルヒノ「北獨逸保險會社」ノ一九〇七年ノ營業報告ニ曰ク「火災保險ノ兼營ガ事業

ヲ規則的ナラシムルコトハ本年度營業ノ經驗ニヨリテ確ムルコトヲ得タリ、即チ運送保險モ火災保險モ各個ニ於テ一上一下アルモ互ニ相補償シテ調和ヲ計リ會社ヲシテ泰山ノ安キニ置カシムルモノ也。茲ニ吾人ガ特ニ一言セザルベカラザルコトナリ即チ運送保險ノ營業ハ常ニ甚ダ困難ノ狀態ニアリ然ルニ是ニモ係ハラズ至ル處保險料竝保險約款ガ會社ノ爲ニ不利益ナルコト茲ニ年アリ然モ尙且ツ之ヲ改良スルコト能ハザル也」ト吾人ハ今日一般保險會社ガ兼營主義ニ移ルノ傾向ヲ研究セザルベカラズ。抑モ比兼營ハ一會社ガ現在ノ營業保險種類ノ外ニ他ノ保險種類ヲ併セ營ムコトニヨリテモ實行サレ亦各異リタル保險ヲ營業スル二會社ガ合併スルコトニヨリテモ同様ノ結果ニ到達スベシ。通常第一ノ方法多ク行ハル。最近ニ於ケル合併ノ最モ顯著ナル實例ハハンブルヒノ「北獨逸運送保險會社」ガ「北獨逸火災保險會社」及「ハンザ火災保險會社」

ノ二會社ト合併シタルコトナリ此二會社ハ桑港

事件ニ於テ一部非常ノ打撃ヲ受ケタル會社ナリ

是ニヨリテ考フルニ都合ヨキ機會ノアルトキニ

ハ又其目的ヲ達スル爲ニ合併ノ方法行ハル、モ
ノナリ。即チ知ル。保險會社ノ營業トシテ特別

例外的兼營主義ノ實行モ亦保險集中ノ結果ヲ生

ズルモノニ外ナラザルヲ。但シ此場合ノ合同ハ

彼ノ鑛山業ト製鐵業ノ合同ノ如キトハ全然其趣

ヲ異ニセリ。凡ソ今日一ノ會社ヲ他ノ會社ト結

合セシメテ是ニヨリテ生ズル利益ヲ占メントス

ルモノ甚ダ寡カラズ。彼ノ「ゴータ生命保險會

社」ガ既ニ其創立當時ニ於テ「ゴータ火災保險

會社」ヲ設立シタル如キ例ハ今日ト雖モ吾人ノ

常ニ耳ニスル所ナリ。又彼ノ「スツツトガルテ

ルフエライン」ト「スツツトガルテル共同及再保

險會社」及「ヴュルテンベルグ保險會社」トノ間

ニモ密接ノ關係存スルモノナリ。最モ是等ハ後

ニ論ズル利益組合 (Interessengemeinschaft) トハ

全然區別スベキ性質ノモノナリ。

投機盛シニ行ハレ終ニ競争ニ堪ヘザルニ至レ

バ此結果ヲ緩和セン爲ニ事業會社ノ合併ヲ行フ

コト數々之アリト雖。保險會社ニ於テ此種ノ合

併ヲ見ルコトハ比較的稀ナリ (「北星」祖國)ノ

合併ノ如キ或ハ此種ニ屬センカ)。保險業ニ於テ

ハ同一種ノ保險ヲ營業スルモノニテモ多數ノ競

爭者存スルコト、テ僅カニ會社ノ合併位ニテ其

投機ヲ輕減シ得ベシトモ思ハレズ。サレドモ又

他ニ合併以外ニ烈シキ競争ノ惡結果ヲ避クル幾

多ノ方法アリ。其第一ハ「カルテル」ノ組織ナリ。

コハ競争ヲ制限スルノ目的ヲ以テ各保險會社ヲ

連結セシムルモノナリ。火災保險ノ「カルテル」

ハ最モ強固ニ行ハレ是ガ爲從來ノ如ク非常ナル

大損失ノ結果トシテ直ニ合併ノ行ハル、ガ如キ

コトハアラザルベシ。運送保險ニ於テハ其業務

ノ性質ガ世界的ナルト又其保險ニハ危險ノ種類

ガ頗ル多キ爲未ダ此種ノ組織ハ餘リ成功セザル

モノ、如シ。故ニ何處ニ於テモ此ニ代フルニ利益組合 (Interessengemeinschaft) ヲ組織シテ競争ノ制限及事業ノ隆昌ヲ計ラント欲スルモノ多シ由來最モ重要ナル利益組合トシテ數ヘラル、ハ「ミュンヘン再保險會社」ノソレナリトス。己レガ再保險者トシテ被保險會社ニ向テ近ク投ジタル金額ニテモ約一千萬馬克ニ上ルト云フ。サレドモ其各分配ノ方法及結算ノ方法ニ就テハ其營業報告ニ於テ何等ノ詳報ヲナサズ。而シテヨク其多數會社ノ密接ナル結合ヲ持續シ得ル所以ノモノハ其組合ノ重役トシテ「ミュンヘン保險會社」ヨリ二人ノ取締役ガ是ニ干與セルコトニヨル此利益組合ノ外ニ一九〇九年又一ノ新設組合起レリコハフランクフルトノ「フランクフルト運送傷害碯子保險會社」、「フラコナ會社、伯林ノ「オイロツバ保險會社」及「プロシヤ再保險會社」四會社ノ據テ以テ組織セルモノナリ。而シテ組合ハ相互のニ株式ヲ所有シ重役及監查役ハ

交換のニ各會社ヨリ選任シ同時ニ其事務經營ハ四會社分テ「フランクフルト保險會社」ノ營業所ニ集中スルコト、ナレリ。利益組合ノ目的ハ其營業報告等ニ於テ説明スルヲ通常トス。例ヘバ「オイロツバ」ノ報告ニ曰ク「吾人ハ此利益組合ニ期待スル所甚ダ多シ先ヅ希望通りノ事業ノ發展ニヨリ或ハ好良ナル決算ノ相互的分配ニヨリ指名會社ニヨツテ行フ再保險ノ繁榮又ハ其他著シク好都合ノ情況ノ下ニ吾ガ會社事業ノ繁榮ヲ來シ又再保險ニ據テ組合會社タル「フランクフルト保險會社」竝ニ「フラコナ保險會社」等ガ事業ノ確保ヲ得ンコトヲ望ムモノナリ」ト。尙此他ニモ利益組合ヲ組織スルモノアリ。例ヘバドレスデンニ於ケル「ザクセク再保險會社」ノ營業報告ノ報ズル所ニヨレバ同社ハドレスデン市ノ「一般海上湖川陸上運送保險會社」及伯林市ノ「大西洋橫斷物件保險會社」ト聯合シ後者ノ株式四十ヲ有セリ。此他尙共同的營業ヲナスモノ甚

ダ多シ。例ヘバ「アグリツピナ」ト「コルネル、ロイド」。「ヅルセルドルフェル」ト「萬國運送保險會社」。「ハイルブローネル」ト「ヴルテンベルグ運送保險會社」。「獨逸ロイド」ト「萬國ロイド」。「北獨逸」ト「西北獨逸」。等ノ如シ。サレドモ是等ノ共同經營ハカノ再保險會社ノ子會社トシテ直接其下ニ働ケル會社トハ全々區別スベキモノナリ。

今ヤ問題ハ此利益組合ガ會社合併ノ前驅ニアラザルヤ否ヤト云フコト也。比較的弱少ナル會社ガ比較的強大ナル會社ニ合併スルハ必ズシモ利益ナキコトニモアラザルベシ。茲ニ注目スベキハ「ミュンヘン保險會社」ガ比較的多數ノ會社ヲ糾合シタルコト是ナリ。即「アリアンツ」「南獨逸火災保險會社」及「バイエリツシエンロイド」ヲ合セ又近クハ其保護ノ下ニ「アルミニア」ト「ブルーデンチア」トノ合併ヲ實行シタリ。即「ブルデツチア」ノ重役會ニハ自己ノ會社ヨリ二

人ノ代表者ヲ加ヘ又百萬馬克ヲ投ジテ「アルミニア」ノ株ヲ買収シタリ。然レドモ是等ノ事實ヲ研究スルニ合併ノ形式ニ於テ合同サレタル各社ハ何レモ活動力ニ富メルモノニアラザリシコトヲ想像スルニ難カラズ。「ミュンヘン保險會社」ト雖モ尙活動力アル會社ニ其獨立ヲ放棄セシムルガ如キコトナカルベク。又斯テハ何等ノ利益ヲモ得ル能ハザルベシ。余ハ尙此問題ニツキ研究ヲ進メザルベカラズ。今現在ノ「ミュンヘン保險會社」ガ爲セシ如ク。比較的弱少ナル再保險會社ヲ吸收シ或ハ少クトモ利益組合ヲ組織シテ是ニ加入セシムル爲ニ一會社ヲ設立シテ是ヲ實行シ得ベキコト現代ノ發達セル銀行業ノ其レニ於ケル如クナリヤ否ヤハ大ナル問題ナリトス。サレドモ人ヨク是ヲ觀察スレバ再保險タルヤ實ニ特殊ノ事情ノ下ニ存在スルモノナルコトヲ發見スベシ。多數ノ小會社ハ即チ子會社トシテ直接關係ノ強大ナル會社ニ據リ此ノ充分ナル後顧

ヲ楯トシテカノ合同ヲ敢テセザル如ク。又支配會社ニ於テモ其子會社ガ他會社ヨリ何等干涉セラレザルノ利益ヲ保有ス。抑モ專屬ノ再保險會社ヲ有スルコトガ火災保險事業ニ於テ甚ダ利益アル事ハ一九〇六年設立ノ「ライプチツヒ再保險會社」ノ證スル所ナリ。又近ク「祖國」及「プロシヤ」兩火災保險會社ガ子會社トシテ設立セシ伯林ノ再保險組合株式會社ノ證スル所ナリ。サレドモ近クケルン及ヅツセルドルフニ於テ獨立ノ再保險會社ノ設立セラレタルノ事實ハ亦子持再保險會社ノ外ニ獨立ノ再保險會社ヲ容ル、ニ足ル餘地ノ存スルヲ示スモノト云フベシ。「ミユンヘン保險會社」ノ偉大ヲ以テシテモ終ニ再保險會社ノ合同ハ見ル能ハザルナリ。

吾人ハ今ヤ保險業ハ種々ノ制限範圍ニ於テ集中ノ事實アルヲ示シ。同時ニ保險業ニ於テハ大組織ノ合同ノ行ハル、傾向ノ存セザルコトヲ明ニシタリ。仍テ茲ニ一步ヲ進メ集中ニ必要ナル

原因ノ存セザルコトヲ明カニスルト同時ニ一般の合併傾向ノ存在セザル事實ヲ積極的ニ論究セント欲ス。此原因ハ一ニ危險ノ分配ヲ目的トスル保險本來ノ性質ニ起因スルモノナリ。保險事業ニ於テハ必ズシモ其大ナルヲ以テ能トセザル也。要ハ各保險ノ目的ニ對スル危險ガ動搖セザルノ程度ニ於テ同種ノ危險團體ヲ構成スルヲ以テ足レリトス。一人ニテ一萬馬ヨリ十萬馬ノ價格ヲ有スル多數ノ家屋ヲ保險スルコトハ到底行フベカラズ。況ンヤ五百萬馬以上ノ工場ニ於テヤ。簡單ナル計算ヲ以テ此理ヲ説明センニ。今高價ナル建物一箇焼失センカ其總收入保險料ヲ以テシテモ之ヲ填補スルコト能ハザルコト往往アルベシ。故ニ斯カル大ナル保險ノ目的ニ就テハ多數ノ會社ニテ之ヲ分擔シ且ツ是ヲ再保險ノ方法ニヨリテ一層細分ス。カクテ一般ニ斯クノ如キ危險モ保險ニ付スルコトヲ得ルモノナリ而シテ是分括作用ハ會社ガ多數存在スルコトヲ

以テ前提トス。勿論事業ノ擴大ナルニ從ヒ一會社ニテ保險シ得ベキ金額モ漸次増大スルコトヲ得ルハ明カナレドモ然モ今日ノ情勢ニテハ既ニ最大會社ト雖モ一會社ニテ全額保險ヲ引受クルガ如キコトヲ爲サルヲ通例トス。試ニ思ヘ大汽船ノ如キ大倉庫ノ如キ(例ヘバ「ハンブルヒ自由港倉庫會社」ノ第一號倉庫ノ如キ其貨物契約高ハ實ニ一千四百萬馬ニ上ルト云フ)或ハ一箇ニテ一千萬馬ヲ超過スル大工場ノ如キ或ハ多額ノ損害賠償ヲ生ズル諸種事業ノ責任ノ如キ實ニ一保險會社ノ堪ユル處ニアラザル也又更ニ保險事業ノ集中ヲ促進セシメザル第二ノ原因ハ如何ナル都市ト雖モ保險ニ關シテ他ニ抽ンデ、獨舞臺タルヲ得ザルニ據ル。是レ柏林市ガ金融界ニ於テ他ヲ凌駕シテ殆ンド獨占ノ觀アルコト、甚ダ相違セル點ナリトス。即チ保險事業ニ於テハ柏林、ハンブルヒ、ライプツヒ、ミュンヘン、ケルン等皆同等ノ地位ニ位シ。一ガ他ヲ凌駕ス

ル等ノコトナク皆保險市トシテ竝ビ稱セラル、モノナリ。更ニ亦保險業務ニハ種々ノ情實ノ存スルモノナリ。會社十年ノ經營ハ忽チ種々ノ關係ヲ生ズ。例ヘバ會社所在地ニ於ケル直接ノ場所の勢力アリ或ハ單ニ人的關係ヲ生ズルコトアリ。或ハ亦株主又ハ被保險者ノ圈界ニヨリ特別關係ヲ生ズルコトアルガ如シ。總テ是等ノ重要ナル關係ハ一度ビ合併セバ忽チ破ルベシ。是レ各會社ガ合併ヲ試ズシテ利益組合ニヨリ小會社ト雖モ存立シ得ル主要ナル原因ナリ。之ハ一方ニ勢力缺乏スルトモ他方ニ之ヲ補フベキ良好ナル情實關係ノ存在スレバ也。

以上論究シ來リタル所ニヨリ余輩ハ茲ニ結論ヲ與ヘテ筆ヲ擱カントス。第一各種類ノ保險ヲ通ジテ活動力ニ富ム多數ノ會社存在シ彼等ハ會社合同ニ反對ス第二今ヤ經濟界各種ノ事業ヲ通ジテ發展セル事業集中ノ經濟學的觀念ハ保險業ニ於テハ未ダ之ヲ見ルコトヲ得ズト。(完結)